

【常陸大宮市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」（令和3年1月）等を踏まえ、常陸大宮市では「主体的・対話的な学び」の実現を目指す。

2. GIGA第1期の総括

常陸大宮市では、これまで1人1台端末の整備とともに、校内などの通信ネットワークの整備を進めてきた。また、ICT支援員の助言のもと、授業でのICT活用も徐々に進んできており、児童生徒同士で意見交換を行い、問題解決に取り組むといったことも行われている。

一方で、教職員のICTを活用した指導する能力については、教職員の意識・スキルの面で学校内または学校間での格差がある。そのため、より一層1人1台端末の利活用を進めていくには端末、通信ネットワークや周辺環境等の整備に加え、教職員のICTを活用した指導力の向上が喫緊の課題となっている。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末の利活用を進めていくにあたり、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していくと共に、1人1台端末の利活用方策として以下について検討していく。

- ・教職員のICTを活用した指導力や情報リテラシーの向上に向けて、ICT研修の実施や教職員の理解度に合わせたICT支援員等の協力体制を整備する。
- ・実践事例や先進的取組などの調査・情報提供のほか、教職員間でスキルを学び・教え合う好循環を創出する環境整備に取り組む。
- ・教職員向けにクラウドを活用した授業の研修を実施するなど、共同編集や他者参照の学びを教職員が実際に体験し、ICTを活用した個別最適な学び、協働的な学びを授業で実践できる支援体制を構築する。
- ・不登校や特別な配慮を必要とする児童生徒の学びの保障に向けて、児童生徒本人や保護者と学校が協議の上、1人1台端末などのICT機器を活用した個別最適な支援体制を構築する。